

# 施策評価調書

施策名	5-1-1	確かな学力の育成	施策を取り巻く環境変化	平成22年度からはじめた全国学力学習状況調査については、これまで本町が積み上げてきた学習内容定着度調査の結果を今後も学力の指標として採用したと考えていますので、引き続き不参加とします。
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当 リーダー	学校教育担当 阿久津 径行	
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 57	

## 1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	第25位/全36項目(基礎学力の向上) -6.0%	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	第8位/全36項目(基礎学力の向上) 72.3%	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの  
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

## 2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
<b>(基礎的な知識の定着)</b>							
指標1:学習内容定着度調査の全国平均点との比較(小4):(点)	22年度実績	計画	小学5年時(H23)の全国平均+0.5点	小学6年時(H24)の全国平均+1.0点	中学1年時(H25)の全国平均+1.5点	中学2年時(H26)の全国平均+2.0	中学3年時(H27)の全国平均+2.5点
	小学4年時の全国平均点との比較値	実績	↓国 -2.0点 ↓算 +0.3点	↓国 -1.3点 ↑算 +2.2点	国 数	国 数	国 数
指標2:学習内容定着度調査の全国平均点との比較(小5):(点)		計画	小学6年時(H23)の全国平均+0.5点	中学1年時(H24)の全国平均+1.0点	中学2年時(H25)の全国平均+1.5点	中学3年時(H26)の全国平均+2.0	
	小学5年時の全国平均点との比較値	実績	↑国 +1.7点 ↑算 +0.3点	↑国 +2.5点 ↑数 +1.9点	国 数	国 数	
指標3:学習内容定着度調査の全国平均点との比較(小6):(点)		計画	中学1年時(H23)の全国平均+0.5点	中学2年時(H24)の全国平均+1.0点	中学3年時(H25)の全国平均+1.5点		
	小学6年時の全国平均点との比較値	実績	↓国 +0.4点 ↑数 +4.5点	↑国 +2.3点 ↑数 +2.9点	国 数		
指標4:学習内容定着度調査の全国平均点との比較(中1):(点)		計画	中学2年時(H23)の全国平均+0.5点	中学3年時(H24)の全国平均+1.0点			
	中学1年時の全国平均点との比較値	実績	↓国 ±0.0点 ↓数 -1.0点	↑国 +2.1点 ↑数 +1.8点			
指標5:		計画					
指標に関する特記事項	○指標は、基準値を平成23年度の全国平均、目標値を中学3年時に設定していますが、毎年の比較が可能です。同一母体を小学校4年時から順を追って比較することができるため、毎年学年平均0.5点プラスになるように目標を設定しています。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

## 3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	当初	35,392	34,373	34,509		
	決算	21,977				

## 4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

## 5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H25年度の狙い
自己評価(部)	H23 事後評価 英語教育の更なる充実を図るため、外国語指導助手(ALT)をフィジーから直接雇用し、英語に触れる機会を増やし児童のリスニング能力の一層の向上を図りました。 また、指標により見えた各学年の弱点(苦手科目)強化のための指導方法が今後の課題です。	家庭での学習について、得意な科目を学習することはもちろんですが、苦手である科目もしっかり学習するように配慮していきます。 また、小中一貫教育の取り組みとして、小学校と中学校の指導内容や方法に一貫性を持たせるためより一層の連携につとめます。 小学校児童用のパソコンが、10年を経過していること、中学校の必須授業のために基本操作を覚えパソコンになれ親しんでもうらうこと、インターネットのマナーやルール等を含めた情報教育を早い段階から行っていくことを目標にパソコンの整備を行います。
H25 事前評価	これまで実施してきた学習内容定着度調査の結果をもとに、教科別の対策(事後の学習効果を高めるための取り組み)を講じる仕組みを継続し、積み上げた結果を活用していきます。 また、小学生が苦手としている社会、中学生が苦手としている英語と数学については、特に重点を置き、その他の科目も併せて学習環境の整備を行い、学力の向上を目指していきます。 パソコンについては、中学校はH24に整備を行いました。H25には小学校の整備を行い一層の情報教育を推進していきます。	
総合評価(町長)	<b>総合評価</b> 学習内容定着度調査結果を検証しながら、検証結果を教科別の対策に活用していることを評価するが、取組み自体が施策というより日々の取組みと感ずるので、次期地域経営計画においては、施策そのもののあり方を再考されたい。	<b>施策傘下事務事業に係る個別指摘事項</b> ・「ALT事業費」については、「条件付継続事業」とする。H26年度に向けては、まず「本町が目的としている英語教育(受験英語なのか、英会話・コミュニケーションなのか、国際理解なのか)を、明確にされたい。その上で、本事業が前記目的を達成するために最も適切な手段なのかを、実施の是非も含めて見直されたい。 ・その他の施策傘下事務事業については、全て「継続事業」とする。